教育目標　　すくすく　ぐんぐん　にこにこ

令和５年６月３０日
第５４３号
北区立じゅうじょうなかはら幼稚園

園長　　髙沢　ゆみか

『思わず…』の工夫

今年度、本園は令和５年度「北区×東京ヴェルディ」体力向上プロジェクト推進校として、年間を通じて東京ヴェルディのコーチによる「巡回スポーツプログラム」を体験し、スポーツの楽しさを味わいながら、体力向上に取り組んでいます。６月上旬にはその第一回目「スポーツなかまづくり教室」があり、友達と触れ合いながら、伸び伸びと身体を動かすことやサッカーを楽しみました。コーチからは実際に身体を動かす指導だけでなく、「試合の相手は敵ではなく仲間」ということや、友達と声を掛け合う大切さも教えていただきました。年間を通じた取り組みの中で、スポーツを楽しむ経験を積み重ね、相手への敬意や思いやりの気持ちなども培っていきたいと思います。

スポーツプログラムの中では、コーチが転がすボールをよけながら走るなど、ゲーム的な要素に歓声をあげて楽しみながら、『思わず』身体が大きく動くような内容が盛り込まれていました。『思わず』というのは、園でも教師が指導を考える際のポイントにしていることの一つです。教師は、子どもたちに対してこのような経験をしてほしい、このような姿になってほしいといったねらいや願いをもち、「〇〇さんは、こうしたら思わず楽しく動くのではないかしら」「思わず夢中になって取り組めるように…」と、一人一人の姿を思い浮かべながら、環境への仕掛けや指導の工夫をしています。

園では先日からプール遊びが始まりました。もちろん中にはプール遊びが苦手な子もいます。担任は、子どもたちの興味に合わせながら、学級で楽しんでいる大好きなダンスをプールの中でも踊ったり、子どもたちが夢中になって取り組むような楽しいゲームを取り入れたりするなど、『思わずやりたくなる』工夫をたくさんしながら楽しいプール遊びを展開しています。プールが少し苦手だった子も、数回のうちに『思わず』夢中で楽しみ、満足した表情を浮かべるようになりました。この積み重ねが自信や自己肯定感となっていくことでしょう。

あと３週間足らずで長い夏休みに入ります。『思わず』は、子育てのヒントにもなります。片付け・苦手な食べ物・お手伝い・自分の身の回りのこと…ご家庭でも『思わずやりたくなる』工夫でお子さんを支えてみませんか。実は、子どもたちが『思わずやりたくなる』ことは大人にとっても楽しいことです。サッカーもプール遊びも、子どもたちが思わず夢中になっているときは、私たち大人もとてもわくわくしています。ご家庭での『思わず』の工夫は、きっと親子の夏の時間をより楽しくしてくれることと思います。

今夏も厳しい暑さとなりそうです。各ご家庭、地域の皆様におかれましても、お体に気をつけてお過ごしください。

今月の指導のねらい

＜ちゅうりっぷ組＞
- 自分なりの思いやイメージをもち、動きや言葉で表しながら、友達とかかわって遊ぶことを楽しむ。
- 様々な水遊びを楽しみ、水に親しんだり、開放感を味わったりする。

＜さくら組＞
- 自分なりに目的をもって遊びに取り組み、考えたり試したり工夫したりする。
- 一緒に遊ぶ友達の思いを受け止めながら、言葉のやり取りや思いの伝え合いをする。